



生協連会報



2021

11



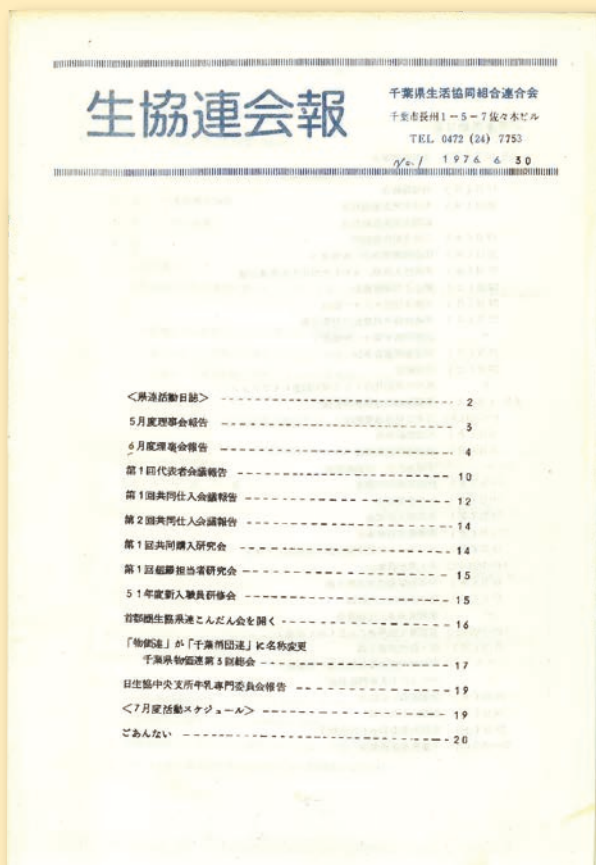
<活動報告>

千葉・埼玉・神奈川・東京 4都県生協連共催：ジェンダー学習会

ダブルハピネス～隣にいるかもしれないLGBTQ～開催報告	2
平和の懇談会「考えてみませんか、平和について ～私が考える平和、あなたが考える平和、平和ってなに？」開催報告	4
第1回職域生協部会報告	6
第2回福祉・たすけあい事業部会公開学習会開催報告	8
2021年度千葉県生協連政策検討会開催報告	10
第2回地域生協部会報告	12
2021年度「大学生協と地域生協の交流会」第1回実行委員会報告	13
「子どもたちに平和な未来を2021」第3回実行委員会報告	15
<9月地域生協組合員供給高状況>	17



おかげさまで生協連会報は 創刊500号を迎えました



創刊号 (1976年6月30日発行)

創刊号目次

- < 県連活動日誌 >
 5月度理事会報告
 6月度理事会報告
 第1回代表者会議報告
 第1回共同仕入会議報告
 第2回共同仕入会議報告
 第1回共同購入研究会
 第1回組織担当者研究会
 51年度新入職員研修会
 首都圏生協県連こんだん会を開く
 「物価連」が「千葉消団連」に名称変更
 千葉県物価連第3回総会
 日生協中央支所牛乳専門委員会報告



千葉県生協連の主な活動予定 2021.11~2022.1

11月			12月			2022/1月		
日	曜		日	曜		日	曜	
1	月	九都市防災訓練物資搬送訓練	1	水	MCA無線通信訓練	1	土	
2	火	MCA無線通信訓練	2	木		2	日	
3	水		3	金		3	月	
4	木	サポ・ちば理事会	4	土		4	火	
5	金		5	日		5	水	MCA無線通信訓練
6	土		6	月		6	木	サポ・ちば理事会
7	日		7	火	地域生協部会	7	金	
8	月	地域・まちづくり委員会	8	水		8	土	
9	火		9	木		9	日	
10	水	千葉県消団連代表幹事会	10	金		10	月	
11	木		11	土		11	火	
12	金		12	日		12	水	
13	土		13	月	食・消費者委員会	13	木	
14	日		14	火		14	金	
15	月	「子どもたちに平和な未来を2021」実行委員会	15	水		15	土	大学生協と地域生協の交流会
16	火	フードバンク連携キャンペーン実行委員会	16	木		16	日	
17	水		17	金		17	月	
18	木	第4回理事会	18	土		18	火	第5回理事会
19	金		19	日		19	水	
20	土		20	月		20	木	第5回地域・まちづくり委員会
21	日		21	火		21	金	
22	月		22	水		22	土	
23	火		23	木		23	日	
24	水	中央地連運営委員会	24	金		24	月	
25	木		25	土		25	火	
26	金	食・消費者委員会	26	日		26	水	
27	土	成年年齢引き下げ公開講座	27	月		27	木	
28	日		28	火		28	金	
29	月	災害対策委員会	29	水		29	土	
30	火		30	木		30	日	
			31	金		31	月	

千葉・埼玉・神奈川・東京 4都県生協連共催：ジェンダー学習会
ダブルハピネス～ 隣にいてもかもしれない LGBTQ～開催報告



SDGs の目標「ジェンダー平等」(目標 5)「人や国の不平等をなくす」(同 10)にも掲げられている「ジェンダー」に関連する様々な問題についての理解を深め、くらしの中で課題解決のヒントを見つけることを目的として、NPO 法人東京レインボープライド共同代表理事 杉山文野さんに講演いただきました。講演後の質疑応答、ブレイクアウトルームを活用したグループ交流を通して、多様性について考え合い、誰もがその人らしく生きられる社会となるために何ができるのか、一緒に考える機会となりました。参加者からは「誰もが公平にスタートラインにつけ、当たり前なのが普通にできる選択できる世界にしないでほしい」となどの感想が寄せられました。



日時:2021年9月18日(土) 14:00~16:30
方法:オンライン(Zoom / YouTube ライブ配信/アーカイブ配信)
講師:杉山 文野さん (株式会社ニューキャンパス代表、NPO 法人東京レインボープライド共同代表理事)
参加:Zoom 60人、YouTube 視聴(アーカイブ視聴含む):157人
合計 217人
共催:千葉県生活協同組合連合会 埼玉県生活協同組合連合会
神奈川県生活協同組合連合会 東京都生活協同組合連合会
後援:千葉県、埼玉県、神奈川県



【吉川会長理事】

主催者挨拶:埼玉県生協連 吉川尚彦会長理事

SDGs目標 5 や10につながる課題のため、生協関係者だけでなく、どなたでも参加できるように工夫をしました。たいへんうれしいことに首都圏以外からも参加をいただいています。今日は皆さんと一緒にジェンダー平等のために理解を深めて、誰もがその人らしく生きられるために家庭や学校、職場、社会全体として何ができるかという視点で学び合いたいと思います。

● 多様な性の存在 ～性を3つに分けて考えてみよう～

- ・カラダの性・・・出生届、戸籍等で決められた性
- ・ココロの性・・・自分の性をどう思うか
- ・スキになる性・・・スキになる相手の性

性はきっぱり男女と分けられるわけではなく、3つ以外にも仕草や服装、言葉使いなど、その人をつくる性の要素は無限の組み合わせがあり、多様に考えられる性の在り方を男女と二分するのは窮屈な考え方だと思う。

● LGBTQ/性的マイノリティ/SOGI(ソジ)って何だろう？

・LGBTQ とは、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、クィアやクエスチョニングの頭文字をとった言葉で、性的マイノリティ(性的少数者)を表す総称のひとつとしても使われることがある。

・SOGIとは、性的指向(好きになる性)/性自認(心の性)の英訳のアルファベットの頭文字をとった、人の属性を表す略称。近年は、マイノリティ(少数派)マジョリティ(多数派)に関係なく、誰を好きになるのか、自分をどう自認するのは、人の属性として私たち全員が持つことから、SOGI に関するハラスメント(SOGI ハラ)をなくす動きも話題になっている。

● トランスジェンダー (出生時に割り当てられたジェンダー(性別)とは異なるジェンダーを自認する人々)

日本では、非常に性別違和がある場合「性同一性障害」と疾患名をつけるケースがある。世界的にみると障害ではなく、それはひとつの生き方としたうえで、医療的なサポートは必要という状態。WHO では精神疾患分類から正式に外れ、「性の健康」に分類した。日本でも将来的には「性同一性障害」という言葉はなくなると思う。

《性同一性障害特例法 2004年スタート》

日本では5つの条件を満たすと戸籍を変更できるが、非常に厳しい内容だ。なかでも特に問題視されているのは「手術をして生殖異能を取り除きなさい」と定められていること。世界からは非難の声が上がっている。

正確に覚えるよりも「性のあり方は多様で、人の数だけあるんだよ」そんな認識が大切です。



【講師:杉山文野さん】

● 性のあり方は「目に見えづらい」

日本では、相手は必ず「異性愛者」であることを大前提に会話がスタートしており、自ら言わない限りは周囲に伝わらない。ここに課題があるのではないか。LGBTQの人に会ったことがないと思われる方は、「あったことがない」のではなく「気が付かなかった」だけで、「居ない」のではなく「言えない」という現実がある。

● 隣にいるかもしれない

もしかしたら友達に中にも、職場にも、お客様の中にも、もしかしたら家族の中にもいるかもしれません。まさか?!と思うかもしれないが、当事者が最も言えない場所の2トップは「職場」と「家庭」。自分の居場所がなくなったら困る一番大切な場所だからこそ言えないのだ。

● 国内外の動き LGBTQのマーケット市場

当事者は、本当はすぐ隣にいるのに、まるでそこにいないかのように扱われ疎外感を感じることが多く、それなら理解ある企業を応援したいと購買意欲が移行している。企業は店舗入口に6色レインボーの装飾、家族割の対象に含めたり、婚約指輪のCMに同性同士を起用するなど、抜け落ちている層があるのならサービスをしっかり拡大させ、売り上げが上がるように対応しようとする時代へ。

● 企業がLGBTQについて取組む2つの必要性

職場環境

- ・採用・・・当事者でなくとも差別やハラスメントのない配慮のある会社は、誰にとっても働きやすいと人気!
- ・生産性の向上・・・自分とは何者であるかを語るうえでウソや隠し事があるとどうしてもコミュニケーションを取りづらくなってしまいます。機会の平等や安心して働ける環境は生産性が向上し、離職減に。

リスクマネジメント

- ・多様化する現代社会においてビジネスマナーとして、身に着けるべき知識とされている。知らなかったでは済まされない。炎上や訴訟事例も起こっている。

● **杉山さんの活動** 「ハートをつなぐメッセージ」大人からLGBTQの子どもたちへ向けた応援メッセージ 子どもたちに「LGBTQの話」は決して早くはない。ある一定数LGBTQの人がいるということ、良い・悪いという視点ではなく、「事実を伝えること」が大切。事実を伝えない不自然さを解消していかないと、クラスの中に必ずいるであろう当事者の子が傷つくだけでなく、周りの子を加害者にしてしまうことにもつながる。

その「当たり前」はすべての人にとって当たり前なのか? 杉山さんからメッセージ

誰だって一つくらいマイノリティなことにはあるのではないかと。誰一人として同じ人がいない中で、何かしらのマイノリティ、マイノリティ、マイノリティ・・・が集まって、マジョリティというグループを作っているだけ。マイノリティの課題に向き合うことは、マジョリティの課題に向き合うこと。今日の話がLGBTQに限らず、様々な課題に向き合うときのきっかけやヒントになれば嬉しいです。

私にもできること ウェルカミングアウト!

当事者も見えないけど、「Ally(アライ)」支援する人も目に見えません。ウェルカミングアウトは、まだ言えていない身近な人へ向けて、この人なら相談できるかもしれないと思えるきっかけや安心感につながります。できることからご一緒しましょう!

LGBTの人口割合は? 5~8%。左利きやAB型の人と同じくらい。苗字トップ4「佐藤・鈴木・高橋・田中」の割合は5~6%なので、同じくらい、もしくはそれ以上のLGBTQの人と暮らしている。

日本は男女不平等社会?! 世界経済フォーラムで発表される「ジェンダーギャップ指数2021」日本は、**120位/156ヶ国**



TOKYO RAINBOW PRIDE



虹色の旗 6色レインボーフラッグは、世界共通性の多様性を表す象徴

~アンケートより~

- ◆ジェンダーに関する学習会に初めて参加しました。性のあり方の多様性、当事者の方たちのご苦労、法整備をはじめとした社会的課題など、様々なお話を聞き考える機会となりました。ありがとうございました。
- ◆当事者の話を初めてお聞きし驚くような事実をたくさん知ることができました。自分の中の偏見にも気づかされました。ニュージーランド国会のスピーチが強力かつユーモアいっぱい、こんな風に働きかけられたらと思いました。
- ◆LGBTQの問題はただ単に性の同一性障害ではなく、個人個人のアイデンティティの問題であると知りました。正しい知識を身につけることで、不安をなくし、自分らしく生きる事ができるということを学びました。
- ◆小学生(高学年)の子供から、学校でジェンダーについて触れていると聞いていたので、一緒に話す良い機会だと思いい参加しました。まずは、家族で話し合ってみたいと思います。

平和の懇談会「考えてみませんか、平和について～私が考える平和、あなたが考える平和、平和ってなに？」開催報告

3 すべての人に
健康と福祉を

16 平和と公正を
すべての人に

日 時：2021年10月6日（水）10：00～12：00
開催方法：Zoom を活用した Web 会議

10月6日に、千葉県生協連の主催による平和の懇談会「考えてみませんか、平和について～私が考える平和、あなたが考える平和、平和ってなに？～」が開催され、26名が参加しました。本企画は、長崎大学核兵器禁止廃絶研究センター特任研究員の林田光弘さんと、千葉県原爆被爆者友愛会会長で、日本原水爆被害者団体協議会事務局長の児玉三智子さん、年齢差55歳のおふたりによるトークセッション形式で進行しました。



はじめに千葉県生協連の上山専務理事より「この企画を通じて自身が平和について考えたり、家族と話し合うきっかけとなることを望んでいます。」挨拶がありました。



林田光弘さん

林田さんの進行により、トークセッションが始まりました。戦争を振り返る／被爆証言を聞くパートでは、被爆者が強く訴えてきた核兵器廃絶と戦争をくりかえさないという活動について、なぜ戦争がおこり、原爆が投下されたのかという歴史の流れや社会状況、また被爆者の方々が社会に置かれていた状況などの説明の後、改めて児玉さんから被爆証言をお聞きしました。核軍縮についてのパートでは、今年初めに発効された核兵器禁止条約が今までの核軍縮の議論との大きな違いや、児玉さんが世界中で訴え続けた活動の中で印象に残った国の話、また世界の核事情などの説明がありました。

休憩後は「あなたにとっての平和とは」「平和について多くの人に考えてもらうためには？」という2つのテーマについてグループに分かれて交流しました。

最後に林田さんからは「世界の人と友達になることが平和につながるという意見がありましたが、SNSを駆使して違う国の人々の遊びや食事などの普通の生活を知ること、意外と平和につながる大事な行為かなと思います。」また児玉さんからは「皆さんと平和について対話をしたいと思っています。」とメッセージをいただきました。



児玉三智子さん

参加者アンケートから(一部抜粋)

- ・戦争と平和について考える上で、体験談はとても大切だと思いますが、今日はさらに日本が戦争に至った背景(法律や人を鼓舞した出来事)を知ることが戦争と平和を理解することにつながるというお話を聞くことができ、今までとは違った視点を持つことができました。
- ・戦争やその背景にあるもの今何が問題なのかなどを被爆体験者の方のお話しと共にわかりやすく聞けた。セッションだったので、一方的に聞くだけでなく、一緒に考えながら話が聞けた。
- ・時間が経つのがあっという間でした。たくさんのことを頭と心の両面から考えた、本当に充実した時間でした。我が子に、そして、たくさんの方に聞いてもらいたいと思いました。
- ・全員がもっともっと聴きたい、聴き足りないと言っていたのが印象的でした。そして、「この議論の必要が無くなるのが平和ってことだと思う。」とおっしゃっていた方の一言に、なるほどと思いました。「平和の対義語は戦争では無い。」とおっしゃっていた方の一言にも、考えさせられるものがありました
- ・林田さんから、暮らしを守る生協の取り組みが、平和を守ることとお話し頂きました。組合員に伝えたいと思いました。
- ・この様な企画は何度もやって欲しい。同じ千葉県内の生協が協力して地域づくりに貢献できたら良いと思うし、大きいことが出来るのではないかと思う。
- ・林田さんや児玉さんのお話はとても印象的でしたが、時間が短いと思いました。



参加されたみなさん

日時 2021年10月13日(水) 10:00～12:00
開催方法 ウェブ会議システムを使用し各事業所で参加
出席 鶴岡(千葉県庁生協)、小川(千葉県学校生協)石原(千葉大学生協、千葉商科大学生協)、有吉(東邦大学生協)風間・井形(日本生協連職域生協事務局)上山・佐久間(千葉県生協連)
以下の2名は、なのはな生活協同組合より参加
川井(千葉県庁生協)、白井(千葉県生協連)



なのはな生活協同組合社屋

内 容

(1) 開会あいさつ

鶴岡部会長より、以下の内容のあいさつがありました。本日はリモートにて、なのはな生協の視察・見学となりますが、職域生協が地域生協の現場を見学する機会は少ないので、今日の視察・見学で学んだことを自生協で活用できる部分を考え今後の事業展開の取り組みを進めていきたい、また第6波に備えたコロナ対策や課題・問題点を職域生協全体で共有し連携していきたい。

(2) なのはな生活協同組合の紹介と視察・見学

はじめに、なのはな生協岩崎専務理事より、配達エリアや供給高について説明がありました。なのはな生協は配送センターが本部1箇所なので全て本部でおこなっています。最初に商品案内や注文書などを帳合している所から案内してくれました。次に商品のピッキング作業(冷蔵・冷凍)を実際におこなっている所、発泡スチロールのリサイクル、作業をする人たちの勤務体制などについての説明をしてもらいました。2011年8月以降1日3検体、放射能検査をおこない測定結果を組合員さんにお知らせしています。野菜だけでなく加工品の中に含まれる原材料の検査もおこなっています。



なのはな生協 岩崎専務

事務所内の様子や電算室で昨日回収した注文書の読み取り作業をしている様子などを見学しました。屋根に212枚のソーラーパネルが設置されセンターで使用する年間の1割ぐらいの電力がまかなわれています。



← ピッキング作業中

← 発電所の掲示

↓ 玄関に発電量をパネルで表示



視察・見学の後、配達の数や比率、放射能検査、OCR、ソーラーパネル、コロナ対策についてなどたくさんの質問と感想が出されました。

(3) 各生協の下期の状況報告

○ 千葉県庁生協

食堂・レストランは席数の削減が影響し食堂事業は厳しい状況だがセブンイレブン店は好調を維持している。県職員互助会が使用できる「特別弁当」や血圧計、体温計などの販売をおこなった。今後は昨年につき八千代高校の生徒が考案した菓子パン等の特別販売をする。食堂内の空調設備の工事を実施するとの報告がありました。

○ 千葉県学校生協

通信供給、共同購入は利用者が増え好調を維持している。新規採用教職員をはじめとする加入促進が研修会・学習会が感染拡大の影響で開催されず加入が滞っている。今後の課題として若年層組合員のニーズに応えるハウジング個別相談制度の充実をはかっていくとの報告がありました。

○ 千葉大学生協

2020年はオンライン授業が中心だったので新学期にパソコンの需要が多かったが2021年度はパソコンの需要が少なかった。一方で旅行受付がない分教習所に注力し大きく回復した。今後は学内人口増に対応した品揃えと廃棄ロスの抑制、感染対策の徹底、就職の支援などをしていくとの報告がありました。

○ 千葉商科大生協

新学期のパソコン、研究費ともに利用増で大幅に供給が増えた。下期重点課題として各種講座授業について大学と調整を進め、パソコン講座・公務員講座等を千葉大学や事業連合と連携して進めていくと報告がありました。

○ 東邦大学消費生協

5月の緊急事態宣言の影響で対面授業が減り、食堂・食品の利用者も減った。学生の課外活動も凍結状態だった。上期ではできなかった企画メニューの提案など「学生がいつ来店しても楽しく買い物ができるお店」を推進していく。生協で大学の学びに貢献できる授業を1つでも多く取り組んでいきたいと報告がありました。

(4) 県連事務局からの報告

3月に続き7月に千葉大学で1,600名、淑徳大学で200名の食料支援とアルバイトの情報提供をおこなった。9月に1都3県（東京、神奈川、埼玉、千葉）の生協共催によるジェンダー学習会の開催報告がありました。

(5) 日本生協連職域生協事務局からの報告

全国職域生協協議会、地連、都県連の職域生協関連の催しの開催状況とこの間の他地連管内の職域生協の特徴的な活動について報告がありました。



(6) 次回部会の日程

2022年3月9日（水）

第2回福祉・たすけあい事業部会公開学習会開催報告



日 時：2021年10月15日（金）14：00～16：00

開催方法：Zoomを活用したWeb開催

参加者：生活クラブ 3名 パルシステム千葉 2名

コープみらい 8名 千葉市社協 4名

日生協 3名 千葉県連 4名 合計 24名

内 容：

第2回福祉・たすけあい事業部会の学習会は公開学習会として開催し、生協の役職員、千葉市社会福祉協議会も加わり、計24名が参加しました。

福祉・たすけあい事業部会は「居場所」を今年度のテーマとして取り上げています。「居場所」は利用者が社会や地域とつながる大切な場所です。公開学習会では、法政大学大学院政策創造 研究科教授の石山恒貴（いしやまのぶたか）先生をお招きして「サードプレイスを人生と地域にいかす」と題してご講演いただきました。



はじめに石山先生よりサードプレイス＝居心地の良い場所は全国でも作られているが、生協とどのように関連づけられるのか参考になるように説明していきたいと話されました。前半では、サードプレイスの概要や条件、また日本独自のサードプレイスの特徴やその成り立ちなどについての説明がありました。説明のあと、グループに分かれて「今までに自分自身が参加したサードプレイスとは？」「これから参加してみたいサードプレイスは」などのテーマで話をしました。参加者からは、「地域、趣味の活動には参加している」「作業を分担しながらみんなで畑やる場をつくりたい」「一人の時間が今は大事なので…」などの意見がありました。

後半は、日本におけるサードプレイスの様々な事例紹介と、地域にサードプレイスをどう活かすかについての話をいただきました。2回目のグループワークでは、「サードプレイスを地域、生協に活かすための課題は？」「サードプレイスを地域、生協に活かすためには？」というテーマで話をしました。

参加者からは「いろいろなサードプレイスの情報を生協の配達員が伝える役割を担える」「生協だけで完結するのではなく、様々な団体と協力しあいながら場を上げたい」などの意見が出ました。石山先生からは、利用者を増やすためには、知り合いが知り合いを連れてくる口コミ力を上げることがポイントになると教えていただきました。



参加者アンケートより

- ・サードプレイス、あればよいというものではなく、参加する人、またそれを提供する人にとっての良い場（つながりの場）となるために、色々と大切な考え方があることを知れてとても良かったです。
- ・一人ひとり参加する目的や求めるものが違って、そこに場があることでつながりが生まれ次のステップに進むきっかけになっているのだと再認識することができました。
- ・サードプレイスは今後社協でも注目している分野でしたので大変参考になりました、事例がたくさん聞いて良かったです。
- ・サードプレイスの背景と必要性がわかった。
- ・コロナの終息後はおそらく人とのかわりを持ちたいと考えている人が多いと思うので、自分にあったコミュニティをみつけて、新たな自分を発見したい。またその情報を発信したい。
- ・サードプレイスという言葉は知っていましたが、考え方や実例、課題などを分かりやすく解説いただいて、理解を深めることができました。



参加者のみなさん

2021年度 千葉県生協連政策検討会開催報告



日 時：2021年10月21日（木）10：00～12：15

開催方法：Zoomによるオンライン

参加人数：6会員生協 74名（講師、事務局含む）

政策検討会は次年度の計画を考えるうえで、必要と思われるテーマを検討し、毎年、10月から12月に開催してきました。今回は昨年に続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、Zoomを活用したオンラインセミナーとして開催いたしました。



㊦首藤会長、㊧上山専務

★当日のプログラム

10：00～開会およびあいさつ

10：05～講演

『SDG s の中でのソーシャルビジネスの取り組み～環境問題や難民問題、福祉など社会的解決に向けて～』

11：35～休憩

11：40～会員生協からの報告

12：20～講師より

12：30 閉会あいさつ

★開会あいさつ

千葉県生協連 首藤会長理事

新型コロナウイルスの感染が拡大したことで弱い立場の人々に大きく影響し貧困問題や格差社会など、これまでもあった社会問題がさらに複雑化、深刻化しています。そのような中で、本日の政策検討会は「安心して暮らし続けられる地域社会のために、生協は何かができるのか」を、ソーシャルビジネスの視点から皆さんと一緒に考えたいと思います。

★講演『SDG s の中でのソーシャルビジネスの取り組み～環境問題や難民問題、福祉など社会的解決に向けて～』

講師 ピープルポート株式会社 代表取締役社長 青山明弘氏

始めに自己紹介があり、幼少期に祖父母の影響から戦争・紛争に課題意識を持ち、大学時代はカンボジアの地雷原をテーマにした映画製作など活動、社会課題をビジネスで解決することに可能性を感じ、ボードレス・ジャパンに入社後、ピープルポート株式会社を立ち上げた。ボードレス・ジャパンは、社会問題解決を持続可能なビジネスとすることを目指し、起業時、起業後のバックアップがあり、社会起業家たちのプラットフォームとなっている。全体では年間100社の起業を目標に社会問題解決に取り組んでいる。ボードレス・ジャングループであるピープルポート株式会社は環境問題と難民問題という社会課題についてPC事業を通じてビジネスをおこなっている。日本では難民認定率が低く、認定されても社会的に孤立し、経済的にも貧困となっている。一方、使えなくなったPCはリユースできるものが多く、環境にも負荷を与えている。この2つの環境問題、難民問題の課題解決に向けて、パソコンを通じてエシカルを多くの人に広めていきたい。



講師の青山さん

★ 会員生協からの報告

- ・生活協同組合パルシステム千葉 職員 丸岡 真吾さん
- ・生活協同組合コープみらい 組合員理事 本間 清子さん
- ・生活クラブ生活協同組合 理事長 福住 洋美さん
- ・なのはな生活協同組合 理事 柴田 梓美さん
- ・青山さんより

各団体の取り組みを聴いて、改めて生協の取り組みを学ぶことができました。生協の強みは生産者と消費者との距離が近いので、本質的な課題に向き合えることだと思います。最近では、SDGsの知名度が上がりましたが、言葉だけ有名になって表面的な活動が増えてきている傾向があります。生協さんにはSDGsという大きな枠に無理に合わせず、本質的な声に向き合って素晴らしい活動を続けてもらいたいと思います。

参加者アンケートより（68人中45人回答、回答率66.1%）

（1）今回の満足度

大変満足したが86.7%、まあまあ満足したが13.3%で合わせて100%でした。

（2）今回の講演、各生協からの報告を聴いて、SDGs目標達成に向けて大切だと思ったこと（一部抜粋）。

- ・ソーシャルビジネスの取り組み、凄いと思いました。ピープルポート（株）の仕組みも素晴らしいし、青山氏の立ち上げたビジネスの内容も凄いと思いました。日本で大変な思いをされている外国人が沢山いることは新聞等で知って心を痛めていましたが、何も出来ないでいたので。またパソコンも数年使って壊れたら新しく買い替えるしか無く、使い捨ての現状に疑問を感じていました。社会全体で、この使い捨ての世の中を変えていかないとならないし、商品に環境スコアをつけてどれだけ環境に負荷を与えて作ったかが見える化していく必要があると感じました。
- ・青山さんの講演については非常に感銘を受けた。難民の定義を知らず口にしていました。自国で生活出来ない事自体日本で生活している私にとって考えられない事です。他国での生活もありき。ですが自国の安定の為に働きかけなければならない事も考えさせられました。又、各生協からの報告は今までやってきた生協の事。これらをより真摯に受け止めて進んでいきたいと思います。
- ・改めて『相互扶助』という言葉を確認しました。SDGsの根本は“おたがいさま”だと。青山さんのおっしゃるとおり表面だけ、都合のよい部分だけSDGsではなく、今後も本質的な事業・活動を追求していきたいと思います。

（3）今後の政策検討会などで取り上げてもらいたいテーマなどがあれば教えてください。

- ・千葉県内で街づくりなどの活動をするNPO団体との交流の機会や学ぶ場があれば参加したいです。
- ・報告者にあわせてスポットされていて細かい配慮だと感じました。参加させていただき、ありがとうございました。
- ・未来を担う若い世代のチャレンジングな取り組みをもっと紹介してほしい。NPOやボランティア、補助金に頼る政策はもう時代遅れだと感じている。
- ・今回のように生協が協働できる取り組みをしている他団体の活動について、もっと学べると良いです。



以上

2021年度第2回地域生協部会開催報告



1. 日 時 2021年10月21日（木曜日）15:00～17:00

2. 開催方法 Zoomを活用したWeb会議

3. 出席

なのはな生協（岩崎専務理事）、パルシステム千葉（新村専務理事）、
コープみらい（首藤常務執行役員 千葉県本部長）、生活クラブ生協（埴
専務理事）、事務局（上山専務理事・佐久間）
欠席 常総生協（伊藤専務理事）

4. 議題及び議事の概要

（1）会員生協交流

- ① 各会員生協より2021年度上期事業状況交流と下期課題等について報告され、会員相互に意見交換をおこないました。
- ② 2021年度年末・年始営業に関するスケジュールについて報告され、意見交換をおこないました。
- ③ 総代会に向けた総代との交流等の状況について交流し、意見交換をおこないました。
- ④ 新型コロナウイルスに対する対応状況について交流し、意見交換をおこないました。

（2）その他

- ① 千葉県生協連より
 - ・フードバンクちば・ちば産学官連携プラットフォーム・千葉市が連携した大学生への食料支援についての協力のお願ひについて報告され、支援の方法について改めて提案することが確認されました。
 - ・9月18日におこなったジェンダー学習会について開催報告がありました。
- ② 事務局より今後の日程案が報告され確認されました。次回は12月7日15:00からとなります。



会議の様子

以上

2021年度「大学生協と地域生協の交流会」 第1回実行委員会報告



日 時 2020年11月6日(金) 18:00~19:00
会 場 千葉県生活協同組合連合会 会議室
開催方法 Zoomを活用したWeb会議
出席者 ○委員 小林(なのはな生協)、津田(パルシステム千葉)、
(順不同・ 佐々木(コープみらい)、並木(生活クラブ生協)
敬称略) 齋藤・奈良(千葉大生協)
石川・宮・今井(東邦大消費生協)
○オブザーバー 石原(千葉大生協)・有吉(東邦大消費生協)
○事務局 上山・依光・竹内(千葉県生協連)

内 容

1月15日に開催される大学生協と地域生協の交流会第1回実行委員会をおこないました。

はじめに、委員会メンバーの自己紹介をおこない、好きな生協商品や食べ物について話していただきました。

つぎに、オンラインでの開催となった昨年の交流会の様子をプログラムに沿って説明しました。アイスブレイクで打ち解けたこと、同じメンバーで交流ができて話が弾んだこと、苦手な家事の話や家事の工夫などの話が役立ったことなどのアンケートの結果も紹介しました。

昨年度の様子を共有したあと今年度の開催についての協議に移りました。



委員会メンバーのみなさん

企画の目的、開催方法、開催日時、企画内容、参加対象について検討しました。開催方法については、飲食を伴わない実開催をとっていましたが、各団体の活動指針をお聞きしその状況により判断する旨の説明がありました。

◆第1回の実行委員会で決まった企画の概要

- ・開催方法：Zoomによるオンライン
- ・開催日時：2022年1月15日（土） 10：00～
- ・参加対象：大学生協 各5人（実行委員を含む）
地域生協 各3人（実行委員を含む）

◆実行委員会の今後の予定

- ・第2回実行委員会（11月下旬）
内容 企画の具体化
- ・第3回実行委員会（12月中旬）
内容 企画についての確認

その後、参加者からやりたい企画について、意見を出し合いました。

- ・おしゃべりができるのがうれしい
- ・生協の食以外の活動、平和や社会的な活動について語りたい
- ・おすすめ商品を食べながら学生の生活を教えてもらいたい
- ・家事の知恵、インスタ映えのする、器の選び方、料理の楽しみ方、スマホの写真の撮り方
- ・親に言えない話をする、学生の知恵や工夫を知ってもらう
- ・社会問題を世代を超えて話し合う
- ・積極的に話しやすい雰囲気を作りたい
- ・今大学生に戻ったら何をしたいか
- ・若い人の今の興味のあることを知りたい
- ・食べ物があることがとてもよい
- ・学生さんのアイスブレイクが若い人の発想で面白い
- ・大学生協ってどんなものか知りたい
- ・今の大学生を知ってほしい
- ・大学生協と地域の生協が交流をもつことは千葉ならではの取り組み

みなさんの出された意見を参考に、次回委員会で内容について検討し、具体化をしていきます。

以 上

日 時：2021年10月28日（木）14：00～16：00

開催方法：Zoom を活用した Web 会議

出 席：佐々木実行委員長・岡本・青地（パルシステム千葉）、
松田・宮間（生活クラブ） 上山・竹内（生協連）

敬称略

内 容

1. 「子どもたちに平和な未来を 2021」の開催について

（1）報告事項

事務局より講師は安田菜津紀さん、開催日は3月12日（土）10時～に決まったこと、また講演内容、構成については実行委員会で検討し10月中にご連絡することになっているという報告がありました。



岡本委員



佐々木実行委員長

（2）協議事項

講演内容については、昨年度の内容をベースにして少し被災地の情報を増やすなど、ある程度の変更をお願いすることとしました。またその変更内容をふまえた講師からの演題と概要をもとに次回テーマをきめることとしました。

構成については、講演、交流という流れは変えないこととなりました。午前の開催なので終了時間は遅くとも12時30分とします。開催要綱については昨年度の要綱と次回決定事項をもとに作成し、11月中に委員のみなさんに確認していただきます。講師との交流会の名称や開催方法は次回までに考えておくこととなりました。

2. 「子どもたちに平和な未来を 2022」の開催時期について

第2回の委員会時に、開催時期を8月に戻すことについて出席委員から意見をききましたが出席者が少なかったこともあり、今回再度確認をしました。出席者からは「8月が平和を考える時期としては効果が大きい」という意見があり2022年度は8月開催を目指すこととなりました。



松田委員

3. 平和に関するこの間の動きと今後について

○パルシステム千葉

オンライン署名のみで「日本政府に核兵器禁止条約への批准、署名を求める署名」を開始（11/30まで）しました。フードドライブ提供食品の仕分けをおこないました。フードバンクちばおよびNPO法人ハイティーンズサポートからの要請により5団体の協力のもと市川工業高校へ食糧および生活用品の支援をおこないました。

○生活クラブ

JFSAが古着リサイクルで支援しているパキスタンとつないでおこなった研修では、日本の被服の供給量の増加に伴い消費されない分が古着として送られているが現地でも処理しきれていないという説明がありました。またフェアトレード品を扱う地球市民交流基金アーシアンの学習会でもSDGs（持続可能な世界の実現）のためには世界の国々の協力が不可欠という話を聞きました。

○なのはな生協

成田市加良部地区にある子ども食堂「からべえ」は緊急事態宣言下でテイクアウトを中心に実施中。参加者は昨年より1回あたり30人程度増え100人を超えています。助成金により食堂内のキッチンの改修をおこないました。第5回フードドライブキャンペーンを行い、提供された食品を賞味期限ごとに整理しました。

○コープみらい

10/29に千葉県ユニセフ協会によるユニセフ学習会開催し50名が参加しました。知り・学び・行動することが大切だと学ぶ機会になりました。「ピースアクションinヒロシマナガサキ」平和エッセイ募集企画に9名の寄稿がありました。

また、12/19に開催するオンライン交流フェスタでは、コープみらいの平和の取り組みについて発信します。

○千葉県連

- ・書籍紹介「被爆者から あなたに いま伝えたいこと」日本原水爆被害者協議会編 岩波ブックレット 定価672円
- ・企画展の紹介「被爆者の足跡―被団協関連文書の歴史的研究から―」
10/23（土）～11/27（土） 昭和女子大学光葉博物館

4. 次回実行委員会

11月15日（月）14:00～



青地委員



宮間委員

2021年9月組合員数・供給高状況

単位：千円

項 目	なのはな	パルシステム千葉	コープみらい	生活クラブ	合計
当月純増組合員数	-39	879	873	-13	1,700
前年当月純増数	-162	-270	355	81	4
累計純増組合員数	-75	6,631	8,761	116	15,433
前年累計純増数	-50	400	2,894	716	3,960
当月末組合員数	12,572	258,520	887,455	44,290	1,202,837
当月供給高	174,962	2,876,642	8,661,219	774,793	12,487,616
前年当月供給高	178,279	2,863,936	8,422,745	769,927	12,234,887
前年比	98.14%	100.44%	102.83%	100.63%	102.07%
前年当月前々年比	126.39%	119.47%	105.94%	116.59%	109.74%
累計供給高	1,025,557	17,116,038	51,625,793	4,502,452	74,269,840
前年累計供給高	1,118,758	16,859,021	52,528,549	4,826,227	75,332,555
前年比	91.67%	101.52%	98.28%	93.29%	98.59%
前年累計前々年比	127.41%	115.66%	113.08%	121.15%	114.33%

※ コープみらいは、千葉県内の事業所の数字です。

千葉県生活協同組合連合会組織概要

創 立	1949 年
会長理事	首藤 英里子
会 員	12 生協
準 会 員	2 生協
所 在 地	千葉市中央区中央 4-13-10 千葉県教育会館 5 階

千葉県生活協同組合連合会会員一覧

生活協同組合コープみらい	千葉県本部所在地 千葉市中央区新田町 36-15 HP アドレス https://mirai.coopnet.or.jp/
生活協同組合パルシステム千葉	所在地：船橋市本町 2-1-1 船橋スクエア 21 4F HP アドレス https://www.palsystem-chiba.coop/
生活クラブ生活協同組合	所在地：千葉市美浜区真砂 5-21-12 HP アドレス https://chiba.seikatsuclub.coop/
なのはな生活協同組合	所在地：千葉市稲毛区長沼原町 678-2 HP アドレス https://nanohana-coop.net/
千葉県庁生活協同組合	所在地：千葉市中央区市場町 1-1 HP アドレス http://www.chibakenseikyo.or.jp/
千葉大学生生活協同組合	所在地：千葉市稲毛区弥生町 1-33 HP アドレス http://www.univcoop.jp/chiba-u/
東邦大学消費生活協同組合	所在地：船橋市三山 2-2-1 HP アドレス https://www.univcoop.jp/toho/
千葉商科大学生活協同組合	所在地：市川市国府台 1-3-1 HP アドレス http://www.univcoop.jp/cuc/
千葉県学校生活協同組合	所在地：千葉市中央区中央 4-13-10 千葉県教育会館新館 6F HP アドレス https://www.jcgsk.com/
生活協同組合ちば住宅コープ	所在地：船橋市前原西 2-12-7 津田沼第一生命ビルディング 6F HP アドレス http://www.cjcoop.or.jp/
千葉県高齢者生活協同組合	所在地：千葉市美浜区真砂 5-21-12 HP アドレス http://chiba-koureiyou.sakura.ne.jp/
千葉県勤労者共済生活協同組合	所在地：千葉市中央区弁天 1-17-1 HP アドレス http://www.zenrosai.coop/
〈準会員〉東都生活協同組合	所在地：東京都世田谷区船橋 5-28-6 吉崎ビル 4 F HP アドレス http://www.tohto-coop.or.jp/
〈準会員〉常総生活協同組合	所在地：茨城県守谷市本町 281 HP アドレス https://www.coop-joso.jp/



千葉県生活協同組合連合会

千葉県中央区中央 4-13-10 (千葉県教育会館 5F)

tel. 043-224-7753 fax. 043-225-3459

<http://chiba-kenren.jp/>